





# ○岐阜県

図3 1. 岐阜県岐阜・西濃地方積算降水量

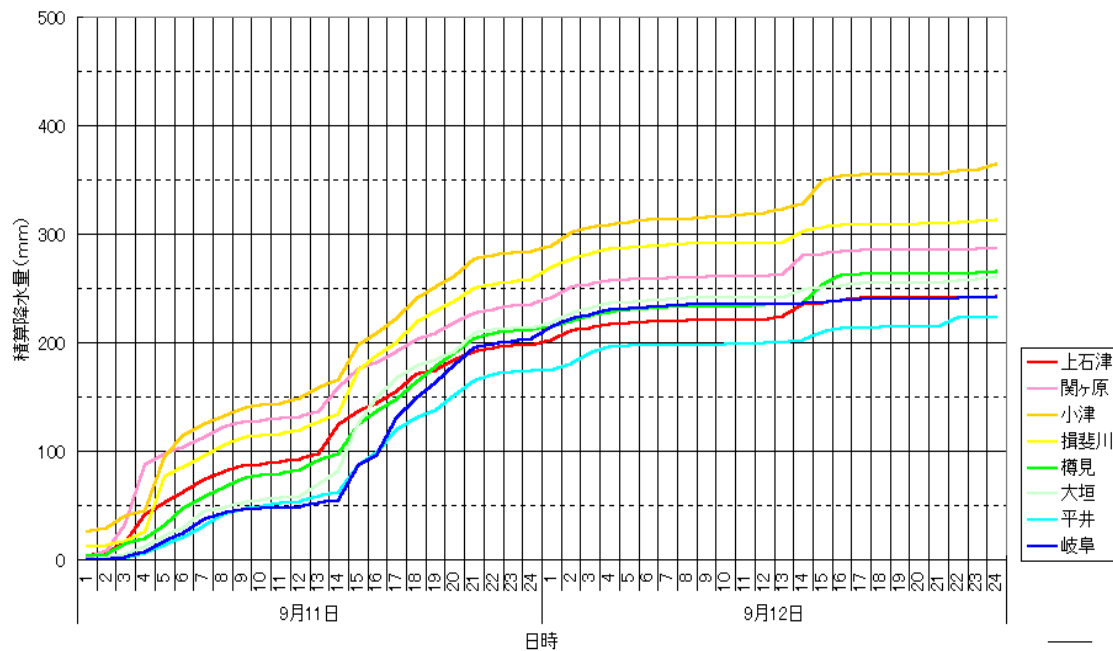
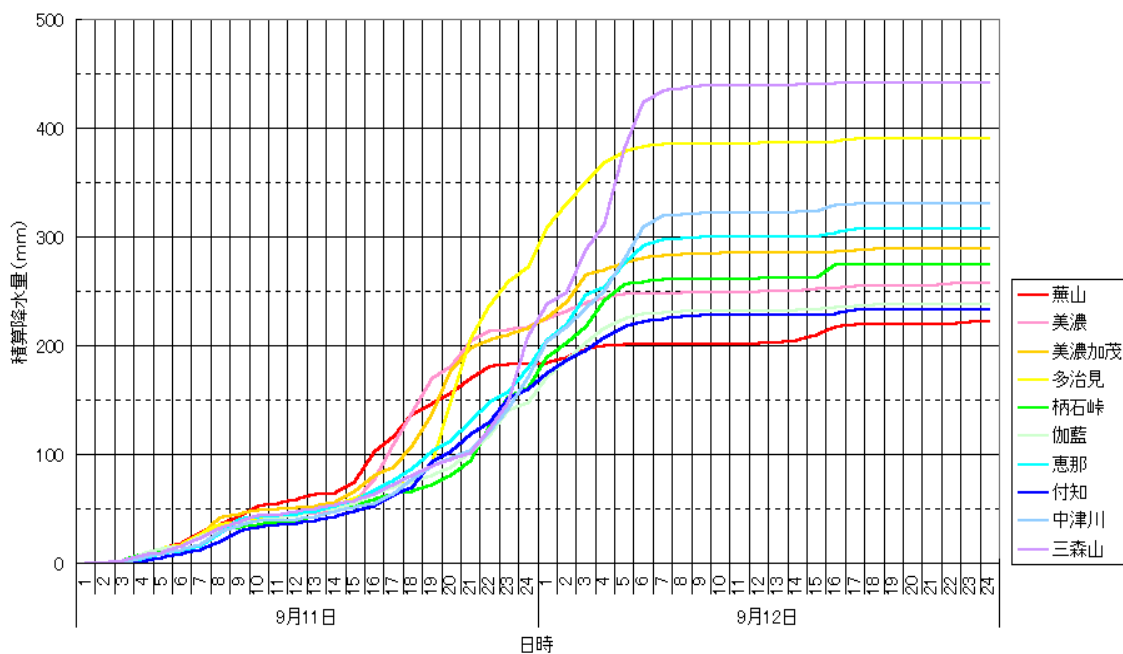


図3 2. 岐阜県中濃、東濃地方積算降水量



# 三重県

図4 1. 三重県北中部地方積算降水量

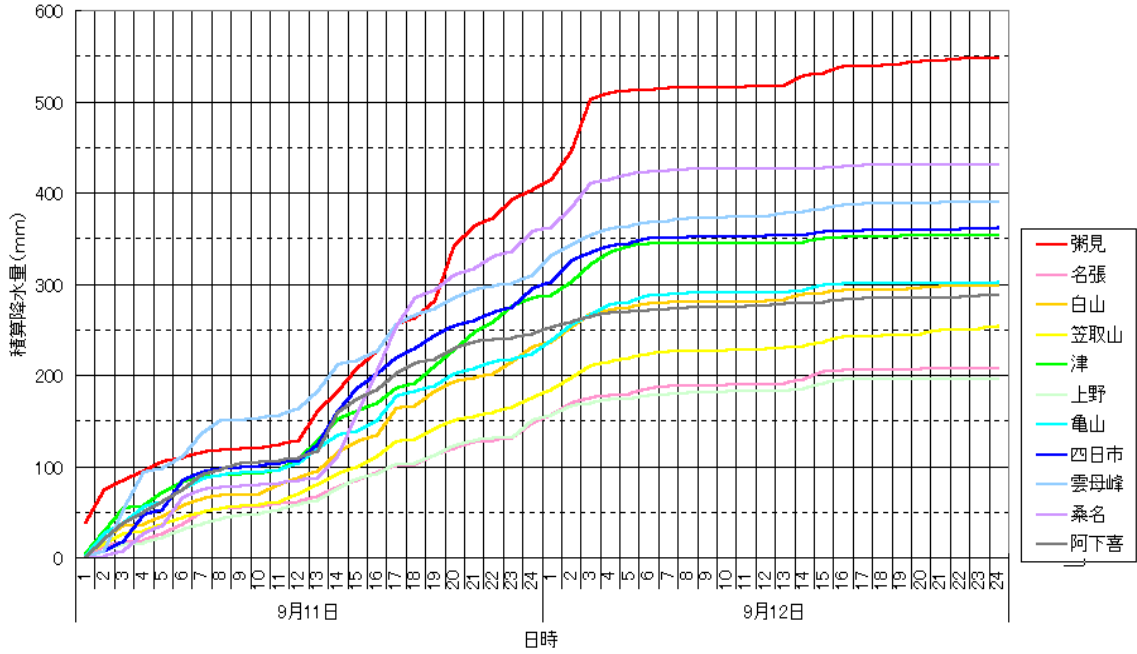
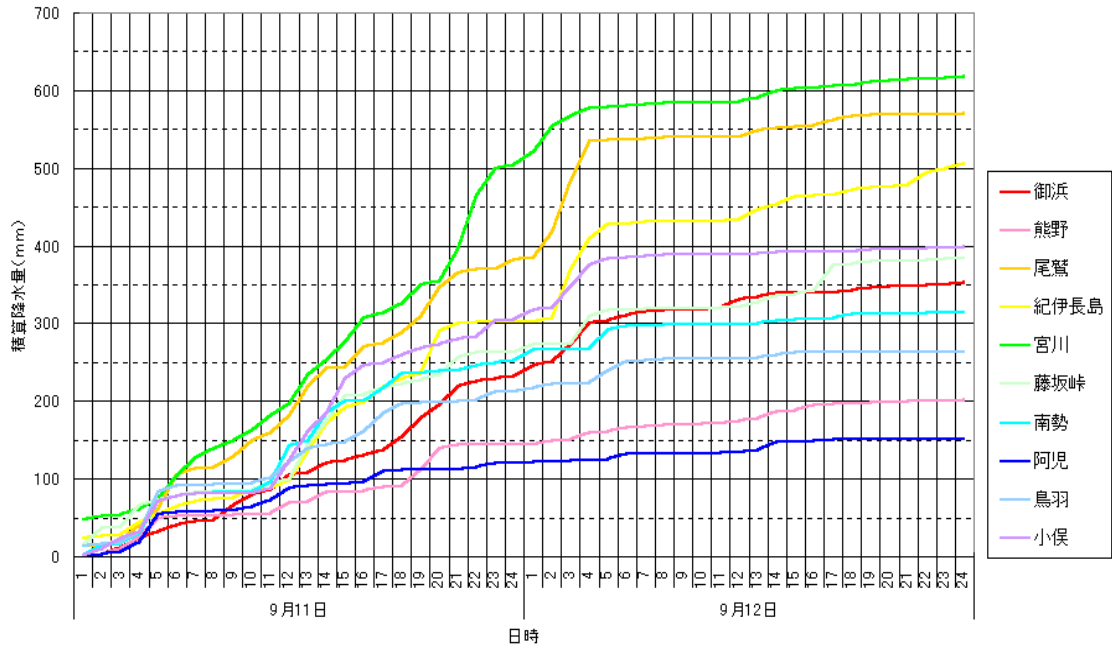


図4 2. 三重県南部地方積算降水量





# 岐阜県

図6 1 . 岐阜県岐阜・西濃地方特別降水量

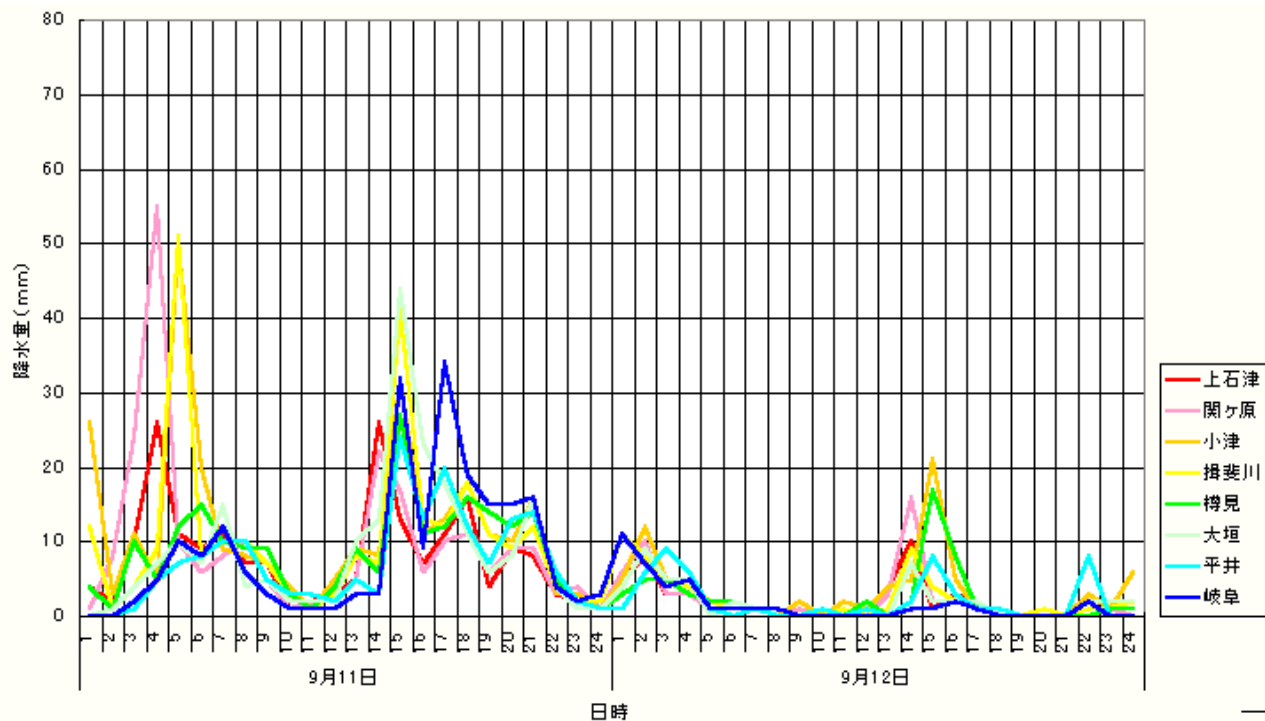
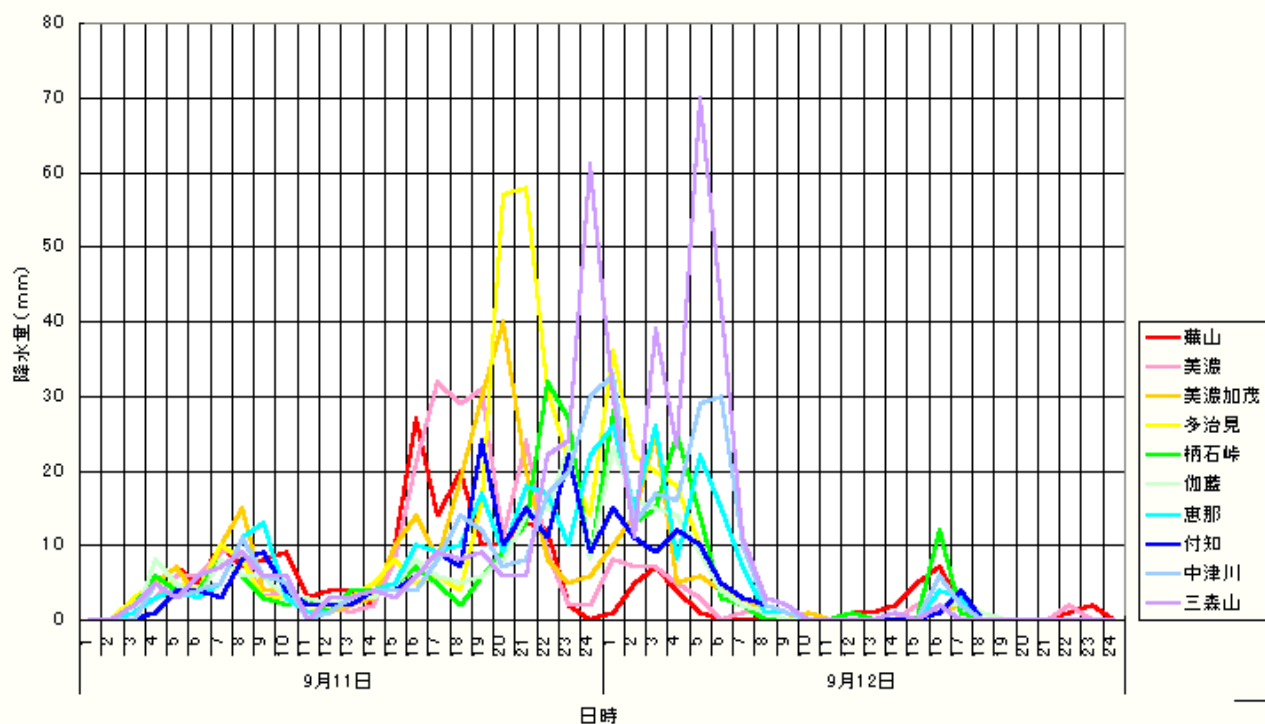


図6 2 . 岐阜県中濃、東濃地方特別降水量



# 三重県

図7 1 . 三重県北中部地方時別降水量

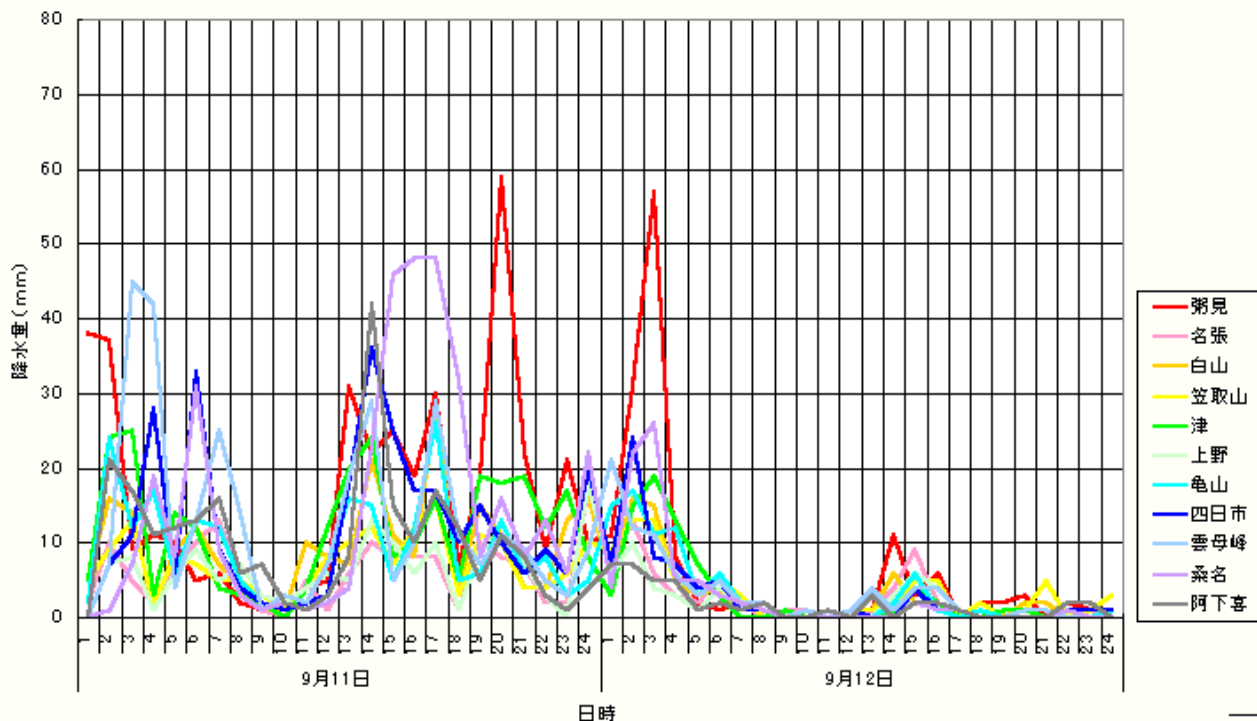
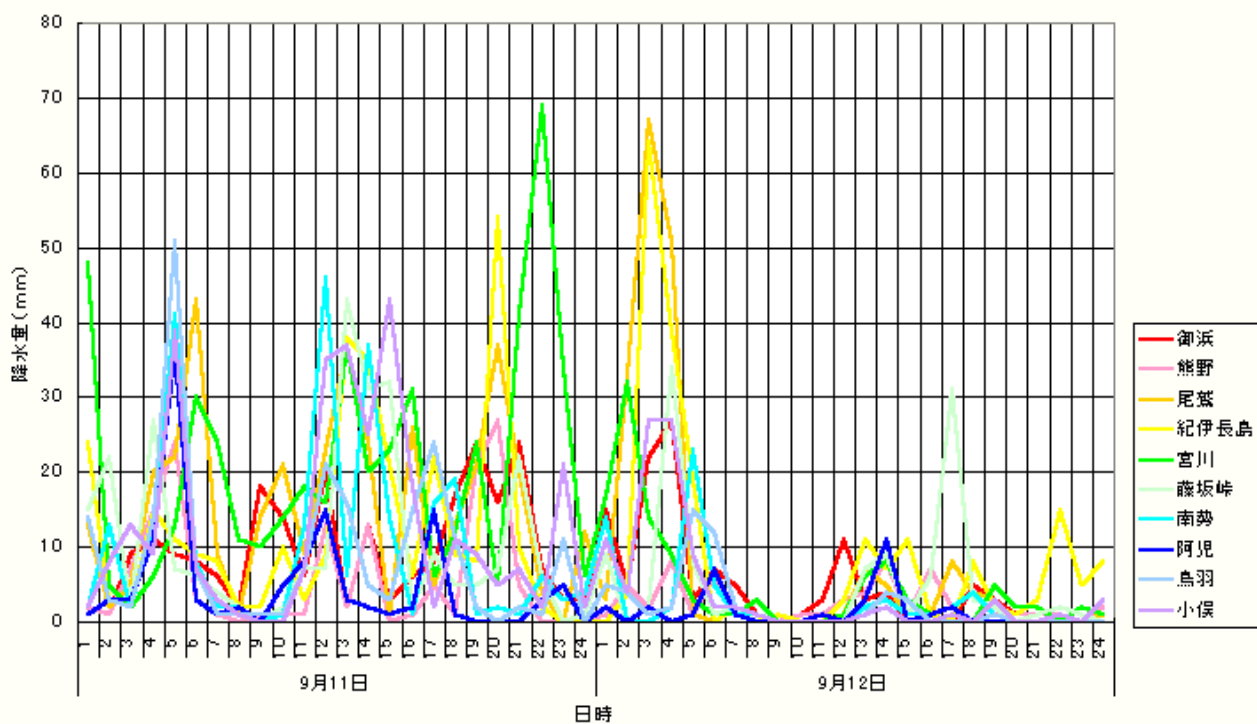


図7 2 . 三重県南部地方時別降水量



## まとめ

9月10日の夜遅くに三重県の南部地方で降り始めた雨が、強まりながら北へ移動し、11日の未明に三重県北部から岐阜県西濃地方では時間雨量40ミリを越える激しい雨となりました。またこの頃、愛知県の東三河地方でも時間雨量30ミリ前後のやや強い雨を観測しています。その後、雨は一旦小康状態となりましたが、11日の昼頃から再び三重県南部地方で強まり始め、三重県北部へと強い雨域が広がりました。

三重県四日市市周辺で14～15時の1時間に解析雨量110ミリの記録的短時間大雨を観測した後、その激しい雨を伴った雲はゆっくりと北東へ進み、17～18時には愛知県蟹江町で78ミリ、18～19時には名古屋市で93ミリ、愛知県東海市で113ミリという観測史上初の記録的豪雨を観測しました。

それからは、雨雲の動きが遅くなり、名古屋市周辺の雨が弱まり始めたのは翌12日の午前3時頃でした。またその頃、今度は愛知県東部の作手村や稲武町、岐阜県中津川市の三森山などで時間雨量50ミリを越える激しい雨を観測した後、強い雨雲は速度を速めながら東へと移動し、東海地方の大雨の峠が越えました。



冠水した名鉄名古屋本線西枇杷島駅